

ヤマキ醸造株式会社（埼玉県神川町）

事業実施主体の概要

- 製造している有機加工食品：醤油、味噌、漬物、豆腐製品
- 有機加工食品の生産量：782トン
（うち有機JAS認証生産量：643トン）
- 輸出額：4,900万円

成果（2016年→2018年）

- 有機加工食品の生産量：
719トン（2016年）→ 782トン（2018年）
- 輸出額：
4,329万円（2016年）→ 4,900万円（2018年）



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・国産有機味噌を海外でも小売り販売できるよう、海外輸送に適したパッケージを開発し、発酵ガスによるパッケージの膨張を防ぐためのガス抜き用のバルブをつけた商品を試作中。
- ・海外の方でも使いやすい味噌だれ等の商品開発に取り組み、試作品を各国のバイヤーに提供し好評価を得る。
- ・今後は、輸出先の規制に適合する包材を作成し、有機JAS認証を取得予定。

■輸出の拡大に向けた取組

- ・30年度に、オーストラリア、フランス、ドイツ、デンマーク、ベルギー、オランダの現地輸入業者と商談。日本の食品輸出EXPO（幕張）にも出展。
計235件の商談を行い販路を拡大。

一言アピール！

今後も国産100%の顔の見えるものづくりにこだわり、美味しい食品をお届けできるよう頑張っています。



（商談の様子）

問い合わせ先：
関東農政局生産部生産技術環境課
048-740-0446



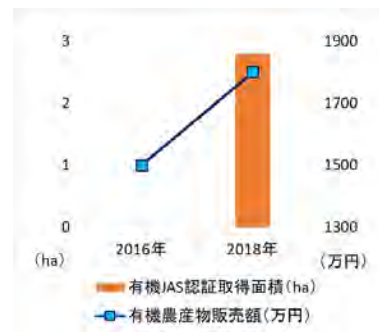
NO-RA ～農楽～ (神奈川県愛川町)

事業実施主体の概要

- 取組面積：3.0ha（全て有機JAS認証取得済み）
- 栽培品目：にんじん、にんにく等野菜類（50品目程度）
- 販売先：生協、スーパー、地元のレストラン等

成果（2016年→2018年）

- 有機JAS認証取得面積：
0ha（2016年）→ 2.8ha（2018年）
- 有機農産物の販売額：
1,500万円（2016年）→1,800万円（2018年）



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■有機農業者の育成に向けた取組

- ・研修生を受け入れ、栽培技術や経営のコツ等を伝えるほか、**有機JASを取得することで、販路開拓のコストや時間を低減**するとともに、海外進出により研修生に自信等を与え、周囲の農家へも有機農業への転換を促すなど、有機農業者の育成に尽力。

■海外への販路拡大に向けた取組

- ・有機農産物を輸出するため、**12月にタイ、1月にラオス、2月にシンガポールにおいて商談を実施**。地元野菜との価格の折り合いや現地とのつながりの確保等において課題は見つかったが、ラオスではさつまいもやりんごなどの売れ行きが良いこと、シンガポールでは日本の野菜のニーズがあること等を確認。今後は、バイヤーを通じた輸出も検討。



一言アピール！

自然との調和で育った野菜は元気でキレイで美味しい！ 私たちは緑肥主体の土づくりで、この自然・生命豊かな日本の農業に貢献したい。



（商談の様子）

問い合わせ先：
関東農政局生産部生産技術環境課
048-740-0446

湘南オーガニック協議会（神奈川県平塚市）

事業実施主体の概要

- 取組面積：5.0ha（うち有機JAS認証取得面積：1.2ha）
- 栽培品目：にんじん、さつまいも、たまねぎ等
- 販売先：スーパー、レストラン等

成果（2016年→2018年）

- 有機JAS認証取得面積：
0ha（2016年）→ 1.2ha（2018年）



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■地域における有機農業の拡大に向けた取組

- ・本事業により**有機JAS認証を取得**。販路開拓のコストや時間を低減するとともに、周囲の農家が有機農業に関心を持つきっかけを与えるなど、**地域における有機農業の広がり**に寄与。

■海外への販路拡大に向けた取組

- ・有機農産物を輸出するため、**12月にタイ、1月にラオス、2月にシンガポールにおいて商談を実施**。

地元野菜との価格の折り合いや現地とのつながりの確保等で課題は見つかったが、ラオスではさつまいもやりんごなどの売れ行きが良いこと、シンガポールでは日本の野菜のニーズがあること等を確認。

今後は、バイヤーを通じた輸出も検討。



一言アピール！

たまねぎは初年度単収3.3トン、2年目は単収6トン。生産量も確保しつつ、なによりも美味しい野菜が広まっていくことを願っています。

問い合わせ先：
関東農政局生産部生産技術環境課
048-740-0446

杉田農園（静岡県牧之原市）

事業実施主体の概要

- 取組面積：5.7ha（うち有機JAS認証取得面積：2.02ha）
- 栽培品目：茶
- 販売先：小栗農園、その他茶商等

成果（2016年→2019年）

- 有機JAS認証取得面積：
2.02ha（2016年）→ 2.35ha（2019年）
- 輸出数量：
515kg（2016年）→ 550kg（2019年）



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■有機栽培茶の輸出拡大に向けた取組

- ・慣行栽培と有機栽培の両方に取り組む中で、ほ場の耕転・深耕、堆肥散布等の作業を1台の管理機等で行っていたが、慣行の栽培管理で付着した害虫の侵入や農薬による暴露等により、有機栽培茶の収量・品質の低下や残留農薬の検出等のリスクが発生するとともに、有機栽培面積の拡大に当たり、農機具の洗浄等に係る労力の削減や作業の効率化が必要だった。

そのため、**有機栽培専用の乗用管理機及びクランクカルチ、深耕装置、肥料散布機をリースにより導入し**、有機栽培茶の収量・品質の向上に取り組むとともに、有機JAS認証面積を拡大。

また、輸出量の拡大につなげた。

一言アピール！

有機栽培のお茶の管理が、乗用型管理機導入で今まで以上に手かけられることによって、良質なお茶ができます。このお茶が国内外でさらに広がってほしいです！



（乗用型茶園管理機）

問い合わせ先：
関東農政局生産部生産技術環境課
048-740-0446

飯田農園（愛知県名古屋市）

事業実施主体の概要

- 生産面積：0.19ha
- 生産している品目：ミニトマト
- 構成員：5名
- 栽培方法：ビニール袋に有機質肥料を混ぜた土を入れて、苗を植える「袋培地栽培」を実践



成果（2016年→2018年）

- 有機JAS認証取得面積：
0ha（2016年）→0.19ha（2018年）
- 有機加工食品の生産量：
トマトジュース 450kg（2016年）→650kg（2018年）
- 輸出金額：35万円（2016年）→45.7万円（2018年）

有機栽培ミニトマト



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・FOODEX JAPAN2019において、トマト酢の需要が見込まれたため、**新たな加工品（トマト酢）を開発。**

■輸出に向けた取組

- ・ミニトマト及びミニトマトの加工品（トマトジュース等）を輸出するため、3月に**海外バイヤーとの商談**を行い、2件の輸出につなげた。



一言アピール！

甘いトマトはいくらでもあります、有機栽培で日本一甘いミニトマト目指しています。
詳細はこちら→ <https://www.iida-farm.jp/>

問い合わせ先：
東海農政局生産部生産技術環境課
052-746-1313

有限会社永源寺マルベリー（滋賀県東近江市）

事業実施主体の概要

- 生産面積：10ha
- 生産している品目：桑8ha 明日葉2ha
- 事業実施主体の構成員：地域高齢者や障害者など15名～20名

成果（2017年度→2018年度）

- 有機JAS認証取得面積：1.2ha → 10ha
- 有機JAS出荷額：0円 → 約2千万円



取組のポイント（取組期間：2018年度）

■新たな商品開発・輸出に向けた取組

国産有機明日葉の需要が見込めた為、生産を拡大している。台湾やアメリカ向けに輸出する為、**数社間で商談**をおこなっている。また、**展示会などへ積極的にアピール**することで、さらなる販路拡大を狙っている。



一言アピール！

青汁などの健康食材の原料を全量有機JASとして出荷可能です。桑、明日葉、ケール、モリンガなど幅広く栽培しておりますので、お気軽にお声かけ下さい。

JAたじまコウノトリ育むお米生産部会（兵庫県豊岡市）

事業実施主体の概要

- 生産面積：471.7ha（減農薬含む）
- 生産している品目：米（コシヒカリ）

安全・安心でおいしいお米と多様な生き物を育み
コウノトリも住める豊かな文化・地域・環境づくりを目指しています。

成果（2017年度→2018年度）

- 有機JAS認証取得面積：0ha（2017年）→14ha（2018年）
輸出金額：0円（2017年）→560,000円（2018年）
- グローバルGAP認証取得面積：0ha（2017年）→18ha（2018年）
輸出金額：0円（2017年）→690,000円（2018年）

取組のポイント（取組期間：2017年～）

■シンガポールへの輸出に向けた取組

- ・グローバルGAP米を輸出するため、現地の米販売事業者と商談を行い、輸出につなげた。

■オーストラリアへの輸出に向けた取組

- ・有機JAS米を輸出するため、現地コーディネーターにマッチングを依頼し国内外輸出事業者と商談を行い、輸出につなげた。



一言アピール！

コウノトリ育む農法によって環境にも人にも優しく
こだわってつくった美味しいお米は、ネットで
全国販売しております。ぜひご賞味ください！

※ 「成果」「取組のポイント」については、たじま農業協同組合 コウノトリ育むお米生産組合のうち、有機JAS認証等取得支援事業に取り組んだ組合員の取組・成果について記載しています。

問い合わせ先：
近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

株式会社GreenMind（兵庫県三田市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：米加工品（ベビーフード）
- 事業実施主体：株式会社GreenMind（代表取締役 高寺寿一）
 - ・2012年に農産物の加工による農業所得の向上並びに就農支援を目的に設立された農業法人。ゼロ歳からの食育をテーマにベビーフードの製造販売を通じ、米食文化の発信と米加工品の価値拡大に取り組む。

成果（2016年→2018年）

- 有機JAS認証取得生産量：
0 t（2016年）→ 1.4 t（2018年）



取組のポイント（取組期間：2017年～）

■有機JAS認証の取得

- ・国産米および米加工品の国内外での競争力と価値を高めるために、**有機JAS認証を取得**しました。

■輸出に向けた取組

- ・米の海外でのブランド価値向上とベビーフードの海外需要に応えるために、輸出を目指しています。国際的に通用する有機JAS認証の取得に加え、**多言語による商談リーフレットの作成**を行い、国産米と日本の伝統的離乳食文化の発信を行います。自社の強みを生かした越境ECの活用や商社への商材PRにより輸出に向けた活動を継続中。



商談用多言語リーフレット

一言アピール！

日本の伝統的離乳食文化の発信により国産米の美味しさが海外から評価されれば、農家と就農希望者の誇りになると信じ格闘しています！



イトク食品株式会社（広島県尾道市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：有機蒸し生姜湯16g × 4P
有機蒸し生姜シロップ120ml
有機蒸し生姜の粉末8g

成果（2016年→2019年）

- 有機JAS製品生産数：0品目（2016年）→3品目（2019年）

取組のポイント（取組期間：2018年～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・2018年8月エコサートジャパンより、**有機加工食品生産工程管理者認証を取得**し、有機蒸し生姜湯等の製品を生産した。
- ・**スーパーマーケットトレードショー2019広島県尾道市ブースで出展**した。2018年に出席した際、有機JAS認証を取得した蒸し生姜湯等が好評だったと感じたため、引き続き2019年9月に行われる「地方銀行フードセレクション2019」などに出展し、国内外の需要にこたえていく。

■海外への輸出に向けた取組

- ・2018年11月に国分グループ（株）による展示会に出展し、海外担当者との商談につなげた。
- ・2020年2月に行われるスーパーマーケットトレードショー2020に出展予定。国内外から多種多様なお客様が来場するので、引き続き輸出へつなげていきたい。



一言アピール！

“生姜で体温革命！”を掲げ、身体にやさしい原料を使い生姜製品をつくっています。



問い合わせ先：
中国四国農政局生産部生産技術環境課
086-224-4511

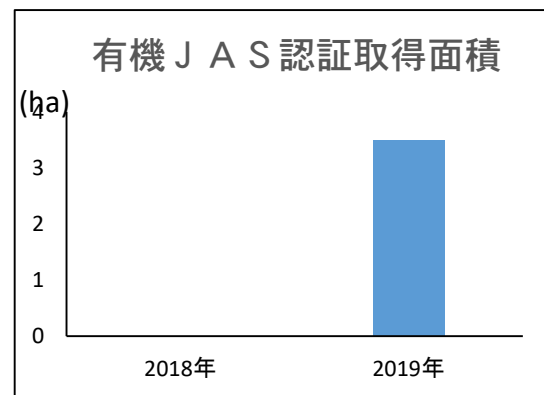
高村農園 (山口県岩国市)

事業実施主体の概要

- 生産面積：12ha
- 生産している品目：水稻、米加工品

成果 (2018年→2019年)

- 有機JAS認証取得面積：
0ha (2018年) → 3.5ha (2019年見込み)



取組のポイント (取組期間：2018年～)

■新たな商品開発に向けた取組

- ・海外への販売を行うための生産米の品質向上のため、2018年8月に**色彩選別機を導入**した。

■海外への輸出に向けた取組

- ・米を輸出するため、2018年10月に輸出エキスポに参加し、**海外事業者30社との商談を行った**ことで、2019年夏の香港の事業者を訪問し、契約先や販売店舗などの視察につなげた。



山口県の中山間地だからこそできる。美味しいお米と加工品の数々をもっとPRして和食の魅力を伝えていきたい！



旭商事株式会社（徳島県鳴門市）

事業実施主体の概要

- 生産している品目：有機凍結全卵
- 事業実施主体の構成員：3名

成果（2016年→2018年）

- 有機農業により生産される有機加工食品の生産量：
0kg（2016年）→ 10kg（2018年）

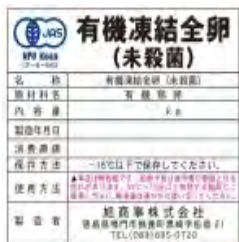
取組のポイント（取組期間：2017年～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・有機食品における実需者の意向調査を行った結果、高付加価値の見込めるスイーツ等の需要が見込めたため、**新たな加工品である有機加工食品（未殺菌有機凍結全卵）を開発し、新たに有機JAS認証を取得。**

■香港・台湾への輸出に向けた取組

- ・有機凍結全卵を輸出するため、2018年5月に**スイーツ製造メーカーとの商談**を1回（電話やメールでは複数回）行い、サンプル製造まで進捗。
- ・2019年は香港で毎年行われる催事用途に向けて、スイーツ製造メーカーと共同で日本の食材を使用した加工品の開発及び輸出を行います。



一言アピール！

日本国内でもオーガニックは広がっております。
スイーツや即食製品の原料にご使用いただけます。

光食品株式会社（徳島県板野郡上板町）

事業実施主体の概要

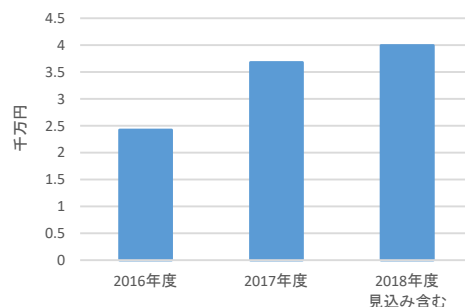
生産品目：有機JAS認証食品、有機原料を使用した食品、ソース、ケチャップ、ドレッシング、和風・中華風調味料などの調味料や飲料。

有機原料や国産原料にこだわり、添加物を使わない食品作りを行っています。

成果（2018年度）

- 輸出金額（展示会での輸出額、見込み含む）
 - ・有機ゆずフルーツプレッド：約30万円×年2～3回
 - ・有機ごまドレッシング（グルテンフリー）：約70万
 - ・有機ゆず果汁：約900万
 - ・有機ゆずピューレー：約30万
- その他、多数商談進行中です。

輸出売上高（6月決算）



取組のポイント（取組期間：2017年～）

- 海外輸出向けに開発・認証取得した有機JAS認証商品
 - ・有機ゆずフルーツプレッド
 - ・有機ぽん酢たまりしょうゆ（グルテンフリー）
 - ・有機ごまドレッシング（グルテンフリー）
- 展示会への参加
 - ・2019年2月、世界一の有機食品の見本市（ドイツ：Biofach）に参加し、上記商品を海外バイヤーに紹介しました。

EUやアメリカなどでは近年ゆずの人気の高くなっています。その為、**国産の有機ゆずを使ったフルーツプレッド（ジャム）を開発**し、有機食品の見本市にて**海外の市場にアピール**して、とても高評価を得ました。

また、グルテンフリーの商品も近年需要が高くなっており、日本食の広がりとともに、小麦を使わないたまり醤油もEUでは人気の商品となっています。弊社ではその**たまり醤油を使った有機ぽん酢や有機胡麻ドレッシングを開発**し、海外バイヤーからの引き合いを頂いております。



光食品工場風景

一言アピール！

これからも安心・安全な食品作りを行い、国内だけでなく海外のお客様にも、また、有機野菜・果実などの生産者の方にも喜んで頂けるような商品づくりを行ってまいります。



Biofachでの出展ブース

問い合わせ先：中国四国農政局
生産部生産技術環境課

TEL: 086-224-4511

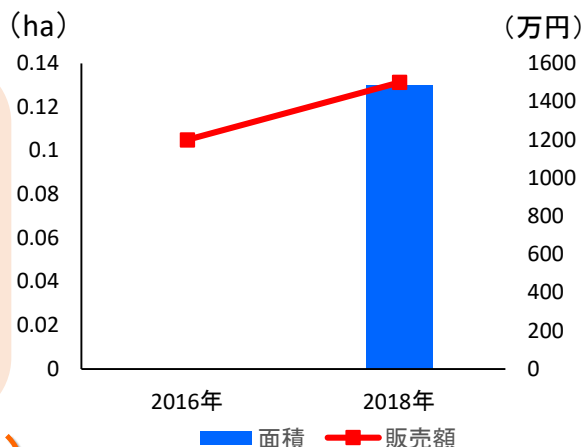
株式会社山下農園 (高知県本山町)

事業実施主体の概要

- 取組面積：3.0ha (うち有機JAS認証取得面積 0.13ha)
- 生産している品目：ニンニク・サツマイモ
- 販売先：高島屋・地元スーパーマーケット・地元レストラン等

成果 (2016年→2018年)

- 有機JAS認証取得面積：
0ha (2016年) → 0.13ha (2018年)
- 有機農産物の販売額：
1,200万円 (2016年) → 1,500万円 (2018年)



取組のポイント (取組期間：2018年～)

■ 海外との取引に向けての取組

- ・ 有機の農産物の輸出に向けて12月にタイ、2月にシンガポールで商談を行ったことで、海外において有機農産物のニーズがあることを把握することができたが、価格面の課題も見えてきた。今後もコーディネーターやバイヤーを通して輸出につなげていく。

■ 有機農産物の栽培技術力強化のための研修

- ・ 有機農家で活躍する講師を招き、栽培技術の实地研修及び座学、販売先へのアプローチ方法等を学習した。



一言アピール!

土づくりにこだわってつくった美味しい有機野菜を皆様にお届けできるよう頑張ってます！
ぜひご賞味ください！



問い合わせ先：中国四国農政局
生産部生産技術環境課
086-224-4511

鶴味噌醸造株式会社（福岡県柳川市）

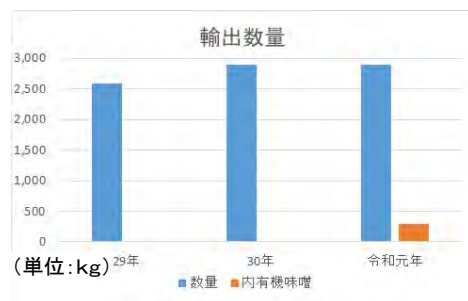
事業実施主体の概要

- 事業実施主体名：鶴味噌醸造株式会社
- 代表者名：代表取締役 吉開 元治
- 創業：明治三年
- 生産している品目：味噌及び味噌加工品
<https://www.tsurumiso.co.jp/>



成果（平成29年→令和元年）

- 有機JAS（味噌）認証取得
商談会に出展しフランス向け有機味噌輸出
- 輸出数量：2,589kg（平成29年）→
2,900kg（令和元年見込み）



取組のポイント（取組期間：平成30年～）

■新たな商品開発に向けた取組

- ・欧米諸国では有機食品の市場規模が拡大していること及び現在味噌を輸出行っているフランスの輸入業者からの有機味噌のオファーもあり、**新商品の有機味噌を開発するため、有機JAS（有機味噌）認証を取得。**

■フランスへの輸出に向けた取組

- ・フランスにおける有機味噌の需要が見込まれるため、取引先との商談を実施し、フランスの展示会などに出展し、さらなる有機味噌の販路拡大にむけた活動を実施。



一言アピール！

厳選した素材、職人の技、まごころをもって美味しく安全な味噌を製造しております。味噌は健康で豊かな食生活を実現できる和食の基本となる伝統的な調味料です。是非ご賞味ください。



問い合わせ先：
九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272